

福本 茉莉さん 世界が注目するオルガン奏者



ワクワクする演奏理想

2012年から矢継ぎ早に日独伊の4種類の国際コンクールで優勝し、世界で最も注目される若手オルガン奏者だ。独ハンブルク在住で、聖ヤコビ教会のバツハが弾いたインブルク在住で、聖ヤコビ教会のバツハが弾いたパイプオルガンにも親しむ。「オルガンは建物も含む巨大な楽器。バツハは特定の教会のオルガン向けに作曲した。その場で弾いて初めて作曲家の真意が分かる。究極のピリオド楽器(作曲当時の楽器)です」

青山学院初等部に入学生、学内のチャペルで演奏を聴いたのがパイプオルガンとの出会いだ。同中・高等部でオルガンの部活動に熱中した。東京芸術大学を卒業後、11年に独ハンブルク音楽演劇大学に留学し、世界的奏者ウオルフガング・ツェラー教授に師事する。「欧州では100カ所ほどで弾いた。教会での演奏には考古学的な面白みもある」。武蔵野市国際やニルンベルク国際などのコンクールで優勝を重ね、昨年CDも出した。

「音符から読み取った感情の積み重ねを重視し、毎回異なる表現をした。形式ばった演奏を避け、その場所ごとに自分を試す。ワクワクする演奏が理想」と話す。26日に浜松市のアクトシティ浜松で公演する。28歳。

「音符から読み取った感情の積み重ねを重視し、毎回異なる表現をした。形式ばった演奏を避け、その場所ごとに自分を試す。ワクワクする演奏が理想」と話す。26日に浜松市のアクトシティ浜松で公演する。28歳。